

ラジオNIKKEI ■放送 毎週木曜日 21:00~21:15

# マルホ皮膚科セミナー

2012年1月19日放送

## 「皮膚科診療に役立つ iPhone/iPad アプリ」

三重大学大学院 皮膚科

講師 磯田 憲一

### はじめに

2008年に発売された iPhone は、多機能スマートフォンとして全世界で1億4千万台が販売されています。

さらに、昨年2010年にはB5判の大きさの iPad が発売され、電子ブックにもなる多機能タブレット端末として4000万台が普及しています。

iPhone と iPad の優れた点は、「アプリ」とよばれるアプリケーションを、端末上ですぐに購入して利用できることにあり、アップル社のアップストアには世界中のプログラマーが作成した50万種類もの「アプリ」が販売されています。有料アプリは85円からと購入しやすく、無料で優秀なアプリも沢山あり驚かされます。



私たちが利用する「メディカル」カテゴリには1,000種類以上の医療系アプリがリストアップされており、後ほど、私が日頃使用している便利なアプリを紹介いたします。そのまえに、医局内での活用例をご紹介します。

### iPhone/iPad の医局内での活用例

当科の教授は7年前からソニーの電子手帳「クリエ」を愛用してきましたが、自分の予定しか管理できない欠点があり、医局行事と講演出張などのダブルブッキングが相次いで

いました。現在は、私が医局行事の予定をグーグルカレンダーに入力すると、教授の iPhone のカレンダーに自動的に同期表示されるので、ダブルブッキングが避けられるようになりました。

一方、病棟医長は、本棚にあふれていた医学雑誌や教科書、アトラスをドキュメントスキャナで PDF ファイルにして、iPhone や iPad に保存しています。このように電子ブックにすることで病棟でも外来でも、バイト先でも自宅でも、必要なときにいつでも参照することができます。そして、本棚の整理もできるので一石二鳥です。

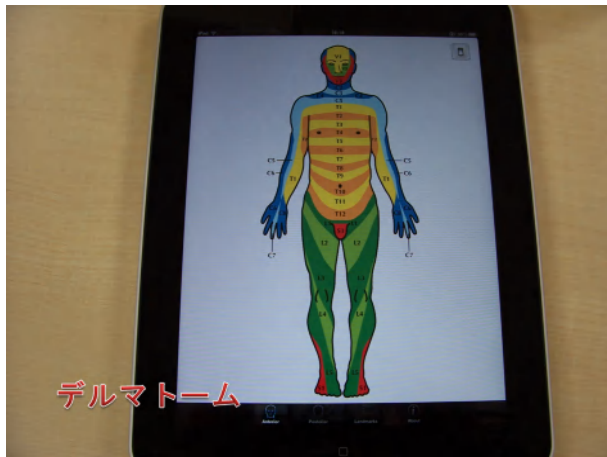
福田皮膚科クリニックの福田先生が発行されている「薬疹情報」も、薬剤名が検索できる PDF ファイルとしてスキャンしポケットに携帯することができます。ただし、著作権がありますので他人にそのコピーを渡してはいけません。



そして、私はバイト先の外来診療で iPad を活用しています。たとえば、帯状疱疹の患者が受診してきたとき、耳前部に小水疱があるときには三叉神経第 2 枝か第 3 枝か迷いますが、iPad のアプリでデルマトームを表示すると第 3 枝と確認できます。患者への説明も iPad をみせるとよく理解してもらえます。

採血結果のクレアチニン値からアプリを使って推定 GFR 値を計算し、薬剤の添付文書を表示するアプリを参照して抗ウイルス剤の 1 日投与量を決定し、処方をしています。

このように、iPhone や iPad を通して、医局内でのリアルタイムの情報交換や、さまざまな診療情報の一元化が可能になることで、診療の質の向上と効率化を進めることができます。外勤の多い大学病院のスタッフには欠かせないアイテムとなっています。



## 診療に役立つアプリ

では、便利なアプリをいくつかご紹介しましょう。

### CalenGoo

スケジュール帳アプリです。iPhone に付属するスケジュール帳 iCal よりも見やすく動作が高速です。グーグルカレンダーに同期するのでパソコンからもスケジュール管理ができます。To Do リストやアラームも使用できるので機能が豊富です。

### GoodReader

ファイル表示アプリです。PDF や JPEG、パワーポイントのファイルなどを表示するアプリで、大容量ファイルも高速表示してくれます。ファイルの保存もできるので電子ブックの閲覧にも使えます。

### Evernote

情報管理アプリです。あらゆる情報管理をこのアプリにまかせることができます。たとえば、医学論文の PDF 書類や診療ガイドライン、ネットで見つけた医療情報、iPhone のカメラで撮った臨床写真や雑誌のクリップなどです。それらはクラウドと呼ばれる外部のサーバーに自動保存されるので、複数の端末から利用できるのがこのアプリの特徴です。

たとえば、この読み原稿も Evernote 上で作成しました。職場のデスクトップパソコン、喫茶店で iPad、そして自宅のノートパソコンから仕事の合間に少しずつ原稿を完成させることができました。

### DropBox

書類保存アプリです。クラウドを利用して、パソコン上のフォルダの内容と iPhone や iPad 上のフォルダ内容を同期保存することができます。たとえば、パソコン上で作ったワードやエクセルのファイルも、Dropbox のフォルダに保存すれば簡単に iPhone で閲覧する

ことができます。また、自分だけ閲覧するのではなく共有機能を使えば、医局内での閲覧もできます。

## M2 プラス

医学書閲覧アプリです。医学書の電子ブックを販売する会社が配布するアプリで、今日の治療薬やイヤernote、当直医マニュアルなど50タイトル以上を購入して利用できます。推算 eGFR や小児薬用量の計算機能もあります。

## 添付文書

医薬品の添付文書閲覧アプリです。PMDA のホームページに掲載されている医薬品の添付文書を検索し閲覧することができます。

## デルマトーム

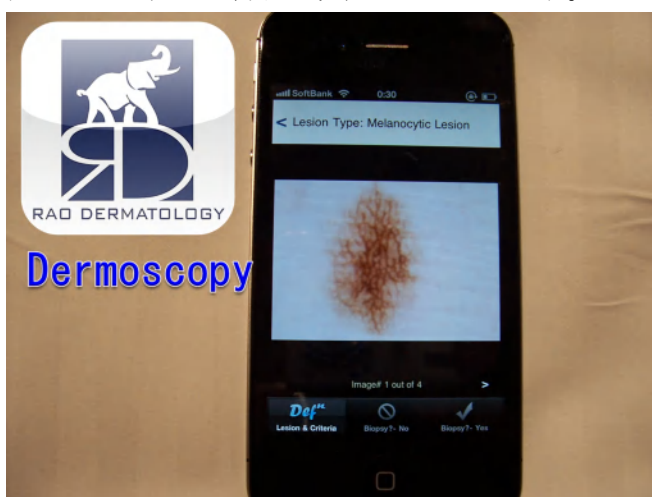
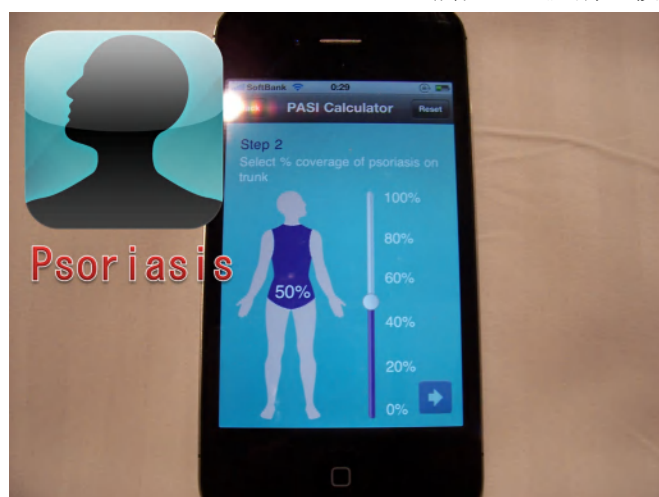
皮膚文節知覚帯を見やすくカラー表示してくれます。帯状疱疹の診断や、腰椎症による神経痛の診断に便利です。

## Psoriasis

乾癬の PASI スコアを皮疹のサンプル写真をみながら簡単に計算できます。

## ダーモスコピー

これはダーモスコピー所見から皮膚生検をすべきかどうかの判断に助言をしてくれます。



## ダーモスコピー チュートリアル

ダーモスコピー画像のサンプル集から用語と所見を学習できます。

エアーマイクロ

スカラー社のエアーマイクロという無線 LAN ダーモスコピーの画像を iPhone や iPad にリアルタイム表示できますので患者への説明用に最適です。

### A2Z of Dermatology

皮膚科の教科書アプリです。英語版ですが 115 疾患が画像と共に簡潔に解説されており、研修医や学生向けです。

### BurnQQ2

9 の法則や 5 の法則で熱傷面積と輸液量を計算してくれます。

### 厳選・皮膚疾患症例アトラス 730

西山茂夫先生のコレクションから 730 症例が厳選されています。

### PubMed On Tap

PubMed から文献検索をして条件によってはフルテキストがダウンロードできます。

### 家庭の医学

一般向けの医学書ですが、医師にも使えるほど各疾患について詳しく記載されています。



以上、皮膚科医が使うと便利なアプリを 16 本ご紹介いたしました。

### おわりに

iPhone は今回ご紹介したアプリ機能はもとより、基本機能の電話やメール、インターネットのブラウズ機能も使いやすく、職場で使っているメールアカウントの送受信も可能なので外出先でパソコンが無いときに困りません。

また、医学教育への応用として、当科では iPhone を使った皮膚科学の e-ラーニングシステムを開発し、臨床実習の学生に iPhone を 1 台ずつ貸し出しており、学習効率が改善されました。

今後は、病院の電子カルテや情報システムと関連できるようなアプリによりますます多様な機能が付加されていくと期待されます。

以上、皮膚科診療に役立つiPhone、iPad アプリでした。

